

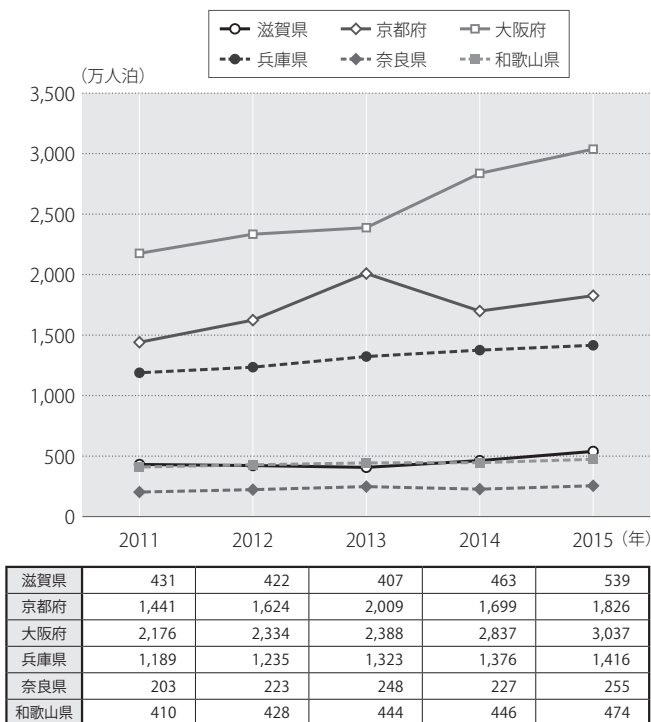
IV-5 近畿

関西広域で推進すべきインバウンド対応の
基本方針を公表
16年2月の外国人入国で関西国際空港が初めて成田空港を抜く

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると15年1月～12月の近畿各県の延べ宿泊者数については、近畿全体では7,547万人泊となり、前年比7.1%増となった。全府県で延べ宿泊者数が増加し、伸び率の高い順に、滋賀県(前年比16.5%増)、奈良県(同12.4%増)、京都府(同7.5%増)大阪府(同7.0%増)、和歌山(同6.3%増)、兵庫(同2.9%増)であった(図IV-5-1)。

図IV-5-1 延べ宿泊者数の推移(近畿)



単位：万人泊
資料：観光庁「平成27年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

外国人延べ宿泊者数についても、全県で対前年を上回り、近畿全体では1,592万人泊(前年比46.7%増)で、14年に引き続き、過去最高の数値を更新した。

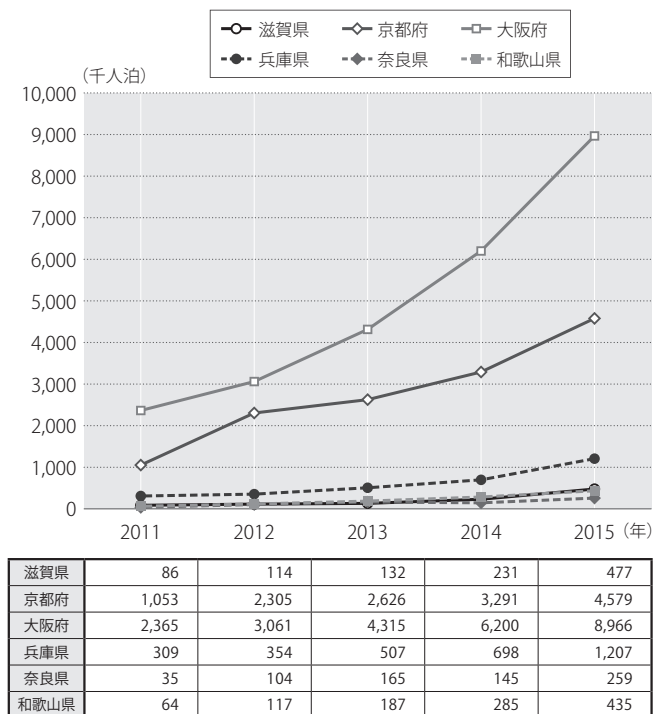
関西国際空港では15年度の総旅客数、国際線旅客数、国際線外国人旅客数が4年連続で過去最高を更新した。総旅客数は2,405万人(前年度比20%増)で、過去最高の2,058万人(00年度)を大幅に上回った。国際線外国人旅客数は過去最高の699万人(14年度)から57%増の1,100万人となり、94年の開港以来、初の1,000万人を突破した。また、法務省の出入国

統計の発表によると、16年2月の関西国際空港の外国人入国者数は50万2,699人となり、初めて成田空港の49万8,640人を上回った。同月は旧正月の春節のため、中華圏からの訪日客が多く、アジア便の数が全体の9割を占める関西国際空港に追い風となった。

外国人延べ宿泊者数の伸び率の多い順に見ると、14年に引き続き、滋賀県(前年比106.8%増)、奈良県(同78.0%増)、兵庫県(同72.9%増)であった。

宿泊者の国籍・地域別の構成については、滋賀県は台湾(38%)が最も多く、中国(25%)、韓国(6%)が続く。京都は中国(20%)を筆頭に、台湾(16%)、米国(11%)、欧州(9%)と比較的多地域に分かれている。大阪府は中国(30%)、台湾(17%)、韓国(14%)が上位3地域。兵庫県は台湾(29%)、中国(26%)、韓国(11%)が上位3地域。和歌山県は中国(30%)、香港(24%)、台湾(20%)が上位3地域となっている。奈良県は約半数(49%)が中国で、近畿内で最も高い割合となった。

図IV-5-2 外国人延べ宿泊者数の推移(近畿)



単位：千人泊
資料：観光庁「平成27年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

(2) 観光地の主な動向

① 地方・都道府県レベル

● 関西広域観光戦略の策定

関西経済連合会では19年のラグビーワールドカップ、20年の東京オリンピック・パラリンピック、21年に関西で開催されるワー

ルドマスターズゲーム等の開催を見据え、13年に都市創造・文化観光委員会のもとに「広域観光研究会」を設置し、関西広域の視点から観光振興策について議論を重ねてきたが、15年2月に「関西広域観光戦略」を発表した。

同戦略では、近畿2府4県に加え、三重、鳥取、徳島各県を「関西」と捉え、地域間連携によってインバウンド誘客に向けた情報発信と環境整備に取り組むとしている(表IV-5-1)。

表IV-5-1 関西広域観光戦略で掲げる取り組み

(1) 関西への誘客のための情報発信	(2) 魅力的な関西観光圏の整備推進
①関西ブランドの強化・発信 ・関西のシンボルマークの策定・活用 ②観光に関する情報の編集・発信 ・観光ポータルサイトの創設 ・デジタルアーカイブの推進 ③海外のメディアを活用した情報発信 ・関西を紹介するテレビ番組の海外放送 ④情報収集とプロモーションの展開 ・SNSなどを通じた情報収集 ・海外プロモーション ・ファムトリップ ・関西ワールドマスターズゲームズ2021プロモーション	①受入環境の整備 ・無料 Wi-Fi 利用環境の整備 ・関西統一交通パスの創設 ・ムスリム対応の推進 ・エアライン・クルーズの誘致 ・関西国際空港アクセスの改善 ・多言語対応の充実 ・魅力ある拠点の整備・連携 ・エリアマネジメントの推進 ・ホテル等の供給体制の検討 ②新たなコンテンツとプログラムの開発 ・ニューツーリズムの創出 ・広域観光ルートの策定 ・オリンピック文化プログラムの開発 ・MICE機能の整備、IRの活用 ③マーケティングデータの整備 ・観光統計データの整備 ・関西観光満足度調査の実施

資料：「関西広域観光戦略」より抜粋

具体的には、関西の地域ブランディングのコア・コンセプトとして「はなやか関西」を掲げ、関西地域をPRするシンボルマークを策定し、関西ブランドの強化・発信に取り組む他、外国人旅行者に対して関西の自治体や民間が提供する観光情報を一元化し、利用者目線でリアルタイムに提案するポータルサイト「i-KANSAI (仮称)」の創設、一度の認証で関西各地での利用が可能となる「KANSAI Free Wi-Fi (仮称)」、JRや大手私鉄、地下鉄を1枚で乗車できる「統一交通パス」の創設、空港と市街地を結ぶ「早朝・深夜の路線バスの拡充」など、インバウンドの利便性向上を目指した各種提言を盛り込んでいる。

●大阪府で民泊条例が可決

大阪府では、急増するインバウンドの宿泊不足への対応として、国家戦略特区による規制緩和を活用し、マンションなどの空き室をホテルとして活用する特例を認める条例案を議会に提出し、15年10月に可決された。その結果、府内では、政令市などを除き、33市町村で民泊が可能となった。

●大阪府の宿泊税導入に向けた動き

大阪府では、ホテルや旅館の宿泊者を対象とした宿泊税を導入する。都道府県では東京に次いで2例目の導入となる。実施は2017年1月予定(表IV-5-2)。

府は導入目的として、大阪が世界有数の国際都市として発展していくことを目指し、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に充当していくことを掲げ、本税収を約10億円と想定している(表IV-5-3)。

表IV-5-2 大阪府における宿泊税

宿泊料金 (1人1泊)	税率
10,000円未満	非課税
10,000円以上15,000円未満	100円
15,000円以上20,000円未満	200円
20,000円以上	300円

資料：大阪府ホームページをもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-5-3 大阪府における宿泊税の充当事業

宿泊税充当事業	
観光客と地域住民相互の目線に立った受入環境整備の推進	魅力づくり及び戦略的なプロモーションの推進
◆旅行者への観光案内、情報提供の充実・強化	◆魅力溢れる観光資源づくり
◆大阪での滞在時間を快適に過ごすための取組	◆効果的な誘客促進
◆旅行者の安全・安心の確保	

資料：大阪府ホームページをもとに(公財)日本交通公社作成

●京都府保有地にビジネスホテルを誘致

京都府は、JR京都駅から徒歩3分の府保有地(七条警察署跡地、約2,600㎡)を、30年の期限付きでダイワロイヤルグループに賃貸する。同グループは複合ビルを建設し、16年春の開業を目指している。建物は地上5階地下1階で延べ床面積11,000㎡となり、宿泊特化型の客室の他に、公共機能として交番と免許更新センターが入居する計画である。

●あいたい兵庫キャンペーン2015を実施

兵庫県では、県、市町、観光関連団体などが一体となって、秋の観光シーズンに合わせ兵庫県の魅力を全国に発信する観光キャンペーン「あいたい兵庫キャンペーン」を今年も実施した。「ひょうごの温泉を巡るご褒美旅」として、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の「五国」の温泉を核として、「プラスワン」の体験を提供する事業や、15年3月に平成の大修理を終えた姫路城グラウンドオープンの県下への波及効果を高める取り組みを支援し、県内観光関連産業の活性化を図ることとした。

●城崎温泉と姫路城を結ぶ高速バスの運行を開始

神姫バス株式会社(兵庫県姫路市)と全但バス株式会社(兵庫県養父市)は、平成の大修理を終えグランドオープンした姫路城と城崎温泉を結ぶ高速バス「特急城崎-姫路線(キャススロード)」の運行を15年4月に開始した。土・日・祝日限定で、1日2往復、所要2時間20分。これまでは両地点を結ぶ公共交通機関はJRのみだったが、本線の開業により、インバウンドが増加している城崎温泉と世界遺産の姫路城を結び、さらなる観光客誘致を目指している。

●奈良県が旅館を改修し「外国人観光客交流館」を開館

奈良県は廃業した旧旅館を改修し、15年7月に外国人観光客への情報発信拠点として「外国人観光客交流館」を開館した。4階建ての1階部分には、観光案内カウンターや交流ラウン

ジスペースを備え、英語・中国語・韓国語の3カ国語による対応窓口や、外貨両替、手荷物の一時的預かりなどのサービスを提供する他、書道、茶道、華道や着付けなどの日本文化体験イベントも開催する。また、16年の夏以降には、2階から4階部分を宿泊施設としてオープンする予定となっている。

●大河ドラマ「真田丸」・戦国わかやま誘客キャンペーン
専用ウェブページをオープン

和歌山県および和歌山県観光連盟などにより設立された「大河ドラマ『真田丸』・戦国わかやま誘客キャンペーン推進協議会」は、16年の大河ドラマ「真田丸」の放送を見据え、主人公の真田信繁（幸村）ゆかりの九度山、真田幸村の宿敵徳川ゆかりの和歌山など、紀北地域を中心とした観光情報などを広く発信するため、『大河ドラマ「真田丸」・戦国わかやま誘客キャンペーン推進協議会専用ウェブページ』を開設した。同ウェブページでは、真田幸村の生涯を伝えるストーリーやモデルコース、旅行会社向け情報、周辺の観光情報、飲食店・お土産店などの情報を掲載している。

②広域・市区町村レベル

●天台宗三総本山が連携した体験型観光キャンペーン

大津市では、市内ホテル、おごと温泉の旅館や飲食店などと天台宗総本山・比叡山延暦寺、天台寺門宗総本山・三井寺、天台真盛宗総本山・西教寺が連携した体験型観光キャンペーンを15年9月から12月にかけて展開した。三総本山は14年10月より観光と地域活性化を目的に協力しており、上記期間中は月ごとにテーマを決めて、イベントを開催した（表IV-5-4）。

また、市内ホテルやおごと温泉の旅館では、「日本天台三総本山 特別巡拝券付（1,000円）」付き期間限定宿泊プランや、三総本山巡りのバスツアー（大人5,900円～）をセットにした宿泊商品を販売するなど、地域を挙げて多様な企画が開催された。

表IV-5-4 天台宗三総本山が連携した体験型観光キャンペーン

テーマ	イベントの例
お寺を知る (10月)	●僧侶による天台三総本山ガイドツアー、秘仏の公開
お寺を体験する (11月)	●正式な御朱印のいただき方講座（延暦寺）
	●ピースプレスレット（念珠）作り（三井寺）
	●仏教音楽「声明」と紅葉ライトアップ（三井寺）

資料：各種関連情報をもとに（公財）日本交通社作成

●京都に食と伝統文化の体験施設がオープン

NPO法人京都文化協会、京都錦市場商店街振興組合、日本料理店祇園さゝきによる約10年間の共同プロジェクトとして、食と文化の経験施設「京町家 錦上ル」が開館した（表IV-5-5）。同館は、「京の台所」と呼ばれる錦市場の近く。①ユネスコ無形文化遺産として登録された和食に関する「食文化発信プログラム」、②「京都伝統文化体験学習プログラム」の2つの柱によ

り「京文化」のさらなる普及、発展、継承を目指して設立された。

「食文化発信プログラム」は修学旅行向けのプログラムで、15年に開業400年を迎えた「錦市場」での食材仕入れ体験と、「祇園さゝき」料理人による地元食材・食文化解説付きの「特別な昼食」。

「京都伝統文化体験学習プログラム」は、ミニ屏風作り、文化財複製品の解説付き特別展示、京友禅実演鑑賞と絵付け体験、着付けなどの独自にプログラムされた伝統文化体験を提供している。

また、昼は錦市場のイートインのスペースとして同施設を開放し、夜は25店の老舗とのコラボレーションによる料理を提供する錦味見処ダイニングを開設するなど、観光客と商店街との新しい出会いと発見の場を作ろうとしている。

表IV-5-5 プロジェクト運営組織・概要

名称	京町家 錦上ル プロジェクト
期間	15年5月1日～25年2月28日（約10年間）
場所	京都市中京区麩屋町通錦小路上ル梅屋町480
主催	京都文化協会
共催	錦市場商店街振興組合
特別協力	祇園さゝ木
協力	京都国立博物館、東京国立博物館、大本山建仁寺、国立スミソニアン協会フリーア美術館 他
後援	京都府、京都市、京都府立大学 京都和食文化研究センター、京都府観光連盟、京都市観光協会、他（含む予定）

資料：同館ホームページをもとに（公財）日本交通社作成

●小学校跡地の活用（京都市）

京都市は、「学校跡地の有効活用」の提案を民間等事業者から広く募集してきた。そのひとつ、東山区の元清水小学校跡地（7,296㎡）については、近代建築としての価値を評価されている外観および主たる機能を保存した上で、ホテルと地域住民のための施設を併設する案が採用された。

●大阪市が船着場を新たに設置

大阪府は、大阪商工会議所の要請を受け、15年5月に市内中心部を流れる東横堀川に初となる「本町橋船着場」を開設した。市内中心部のクルーズ船人気にあやかり、小型船を停泊させて周辺の活性化を目指している。

●東大阪市でラグビーを核とした地域活性化

東大阪市では、「ラグビーワールドカップ2019」に向けて、15年4月に、民間企業や団体、大学などで構成する「花園ラグビー場みらい魅力活性化委員会」が発足した。同会には、観光交流部会が設置され、花園ラグビー場を中心とした「人の流れ」を創造し、東大阪市経済の活性化に向けて、「相談の場」「企画・立案の場」「さまざまな企業との交流の場」などの機会を設けていくとしている。

●城崎温泉におけるインバウンド対応の取り組み

15年4月に全但バス株式会社がJR城崎駅前にツーリストインフォメーションセンター「SOZORO」をオープン。城崎温泉の他、豊岡市内の観光情報について英語対応を含め、来訪者に案内している他、レンタルサイクルや書籍販売、国内外の観光客向けの体験ツアーの販売も実施している。

15年11月には、豊岡市が英語版ホームページ「Visit Kinosaki」に宿泊予約機能を追加する実証実験を開始し、城崎温泉を中心とした市内の旅館が参画。また、各旅館との連携により、温泉街中心地での無料Wi-Fi環境も整備した。

●奈良市が宿泊施設の無線LANなどの整備助成

奈良市では、増加するインバウンドの受入環境整備および誘客促進を目的として、「外国人おもてなし環境整備補助金」を活用し、宿泊施設のWi-Fi環境整備や海外衛星放送の受信、多言語案内表示など、施設の改善経費の2分の1について、50万円を上限に助成した。

●高野山が開山1200年

和歌山県高野町の高野山では15年4月2日から5月21日までの50日間にわたり、「高野山開創1200年記念大法会」が執り行われた。併せて、特別公開・イベントが催され（表IV-5-6）、日帰りおよび1泊2日のツアーも造成された。

（清水雄一）

表IV-5-6 高野山開創1200年記念に関連した特別公開

公開内容	公開期間
金堂 御本尊特別公開	15年10月1日（木）～11月1日（日）
金剛峯寺 御本尊特別公開	15年10月1日（木）～11月1日（日）
高野山霊宝館 初公開	15年3月21日（土）～7月5日（日）
山内塔頭寺院（蓮花院）特別公開	平成27年4月1日～11月30日 （木・土・日曜14時から。1回定員50名）
壇上伽藍中門再建	—
徳川家霊台 重要文化財「徳川家霊台」内部 特別公開	15年5月9日（土）～17日（日）、 10月31日（土）～11月8日
壇上伽藍 国宝「不動堂」内部 特別公開	15年8月28日（金）～30日（日）

資料：高野山真言宗総本山金剛峯寺ホームページをもとに（公財）日本交通公社作成